

受益者の皆さまへ

コモンズ投信株式会社
代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗

【特別レポート】～ 本日の基準価額の下落について ～

○3月13日の各ファンドの基準価額騰落率(前日比)

	基準価額	前日比	騰落率
コモンズ 30 ファンド	22,111 円	▲1,084 円	▲4.67%
ザ・2020 ビジョン	11,730 円	▲719 円	▲5.78%
コモンズ 30+しずぎんファンド	9,886 円	▲483 円	▲4.66%

<ご参考>

	3月13日終値	前日比	騰落率
TOPIX(東証一部株価指数)配当込	1925.78	▲101.02	▲4.98%
日経平均株価	17431.05 円	▲1,128.58 円	▲6.08%
東証マザーズ指数	565.31	▲34.51	▲5.75%

1.本日の市場動向

11日夜にトランプ米政権が新型肺炎対策として英国を除く欧州からの渡航を30日間禁止すると発表。世界的に経済活動が一時停止することで世界景気の落ち込みにつながるとの警戒感から12日のNY市場でダウ平均は過去最大の下げ幅となりました。その流れを引き継いで、本日の東京市場でも朝から断続的な売りが続き、日経平均株価の下げ幅は1,800円超に広げ、一時は17,000円を割り込む場面もありました。午後に入ると自律反発狙いの買いから下げ幅を400円程度まで縮小しましたが、その流れも続かず、2016年6月以来で最大の下落幅(1,128円安)を記録して終了しました。

2.コモンズ投信代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗 からのメッセージ

新型肺炎の拡大に伴い軟調な相場展開となっていた世界の株式市場は、WHO(世界保健機関)が、パンデミック(世界的な大流行)宣言をしたことで、大幅な下落となっています。

リーマンショック以来の株価の暴落に、ご不安になられている方も多いと思います。ご心配をおかけしておりますこと、本当に心苦しく思っています。

さて、私は株式市場と対峙するようになって40年近くになります。

1987年のブラックマンデーにはじまり、1989年バブル崩壊、2008年リーマンショックなど大きな株価急落を何度も経験してきました。

当社には、私以外にもこうした経験を積んだメンバーが少なくなく、経験を活かした対応を続けています。どの大きな暴落も、慌てずに行動すれば、その後は大きな成果につながったことは歴史が証明しています。

リーマンショックの時も、つみためて投資家3人の行動パターンの違いが、その後の成果に大きな差が出た話がよく語られます。

Aさんは、あまりのショックで全てを解約してしまい大きな損失が確定し、投資にアレルギーが出来た。

Bさんは、そのままつみためて投資を続けたら1年後に含み損がなくなりプラスになった。

Cさんは、そんなに安いのならつみたて投資の金額を増額してみた。すると半年後に含み損がなくなりプラスになった。BさんとCさんは、その後もチャイナショックなどを経験しますが、もう動揺することなく、長期的な資産形成を実現されました。

さて、日経新聞にも出ていましたが、株価の急落は3つの要因からおこります。

- 1.金融危機などの構造的な要因からおこる急落＝(例)リーマンショック、
- 2.景気の大きな循環からおこる急落、
- 3.一時的なショックによる急落＝災害やテロなど、

今回の新型肺炎ショックは、3の一時的なショックですが、景気に大きな影響を及ぼしそれが金融システムにも波及する可能性までを織り込んで急落になっています。

しかし、大事なことは、パンデミックはまさに流行するということは、3ヵ月後なのか1年後なのかは不明ですが、いずれ収束するということです。

さらに金融システムに波及しないように、各国中央銀行と政府は十分な対策をとりはじめていますので、1の構造的なショックにまでは至らないと考えています。

最後に、著名投資家ウォーレン・バフェットさんの言葉を紹介いたします。

「みんながどん欲な時に恐怖心を抱き、みんなが恐怖心を抱いている時にどん欲であれ」

「いま株価が上がろうが下がろうがどうでもいい。今後10年、20年経っても社会が必要としているものを作っているか。それが最も重要だ」

「株を買うのではない、事業の将来性を買うのだ」

私たちも、同様の考えに基づき、慎重姿勢を崩さず、丁寧な運用を続けています。

「投資は未来を信じる力」。

私たちコモンズ投信のミッションは「一人一人の未来を信じる力を合わせて、次の時代を共に拓く」です。

何か特別なことをする必要はありません。資産形成の時間軸に目線を合わせ、積立を淡々と継続することこそが、こうした局面での一番の対応策です。

みなさまの変わらない行動が、次の未来を作ります。

未来を信じる力を「合わせ」て、この難局を一緒に乗り越えて参りましょう！

以上

ファンドの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社が指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%(消費税込)が上限となっております。
換金時手数料	ありません。
運用管理費(信託報酬)	<p><コモンズ 30 ファンドの場合></p> <p>ファンドの純資産総額に年 1.078%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。</p> <p><ザ・2020 ビジョン、コモンズ 30+しずぎんファンドの場合></p> <p>ファンドの純資産総額に年 1.265%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。</p>
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として純資産総額の0.11%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ファンドのリスクについて

ファンドは、国内外の株式など値動きのある証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

※リスク要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご留意事項

- ◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者
 関東財務局長(金商)第 2061 号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
コモンズ投信株式会社
 〒102-0093
 東京都千代田区平河町2-4-5
 平河町Kビル5階